

裁判報告・交流集会 報告

2021年12月30日

1. 2021年12月7日(火) 11時～12時
2. 大阪弁護士会館 10階1004会議室
3. 参加者 弁護士5名、裁判傍聴者27名(神戸、大阪、名古屋からの参加あり)
4. 裁判報告

(1) 佐藤真理弁護士団長

- ・今回の口頭弁論に先立ち、田島泰彦先生の意見書を裁判所に提出し、これに基づいた意見陳述を本日辰巳弁護士が行いました。(意見陳述書原案は星弁護士起案、辰巳弁護士が改定・陳述。)
- ・田島意見書は、「放送の自由」について、ヨーロッパとアメリカの対比をし、それに対し、日本だけが放送行政権限を政府がすべて握っていると指摘している。その上で、視聴者が放送法違反のチェックをし、裁判所がその適否を判断すべきであるとする我々の裁判は意味があると結論づけている。
- ・最近のNHKのニュース報道は相変わらずひどい。聖火リレーの中継放送で「オリンピック反対」の声を消したり、オリンピックに関するアンケート調査の問いを変更して、あたかもオリンピック反対の声が少ないように見せかけたりした。また、わずか国民の1%すぎない自民党員の総裁選挙を公共放送NHKが大々的に報じた。総選挙報道では相変わらず各党の議席配分した時間で、政府寄りの報道をした。
- ・このような実態に関連して、長井さんに証言をしてもらいたくて、裁判長に食い下がったが、裁判官合議の結果、証人採用は実現しなかった。
- ・次回はいよいよ結審になる。
- ・学術会議会員の任命拒否の問題、核兵器禁止条約にオブザーバ参加もしない、敵基地攻撃能力を持つことを検討すると言い出した。憲法改正についても、憲法審査会を毎週開けと維新がけしかけ、それに悪乗りして改憲4項目をやるうとしていて、危険な状況になっている。これらの問題をさらに掘り下げて、準備書面をまとめていく。
- ・東京で行われているNHK文書開示請求事件訴訟の本質は経営委員会が放送法第3条、第32条に違反して番組編集に介入したことである。NHKは正式ではない議事録を提出してごまかそうとしている。NHKをめぐる運動が(奈良の他にも)起こってきている。このような中での我々の裁判、高裁で、放送の内容について放送法に違反しているかどうかの実態判断をさせることが出来たらいいと思っている。しかし、いずれにしても最高裁へいく。2017年12月の最高裁判決は、放送の中身については何も触れられていない。我々は放送の中身を問題にする訴訟として最高裁に

持っていくことになる。これからもご支援をよろしく申し上げます。

(2) 辰巳創史弁護士の報告

- ・田島先生の意見書は、アメリカとヨーロッパの放送法について、多角的に論点を明らかにするとか、政治的に公平であることとかの公平原則の違いを紹介している。
- ・ヨーロッパの場合には、「放送の自由」というのは、メディアが「自由に放送していい」というのではなく、受け取る側の権利として「いろいろな放送が見られる自由」があって、そのための手段として放送する側に放送の自由があるというものである。
- ・アメリカはメディア自身が「放送の自由」を持っているというもので、これは、NHKが準備書面で主張している。放送する側が持っている自由であると主張する。視聴者から干渉されるものではないとする。
- ・田島先生は、視聴者の立場から、ヨーロッパ型の公平原則が妥当であるとしている。
- ・日本では公平原則が放送法第4条で規定されている。他方、かつて高市総務大臣が、政治的に不公平な放送をしたら総務省の権限で電波を止めることもありうる発言した。しかしそれは政府が放送に干渉することになる。本来政府から独立した機関で規制すべきである。かつてそのような機関として一時的に「電波監理委員会」があったが今はない。
- ・現状では誰が放送法違反をチェックするかといえば、視聴者ということになり、そして判断をするのは裁判が一つ的手段になる、という結論を田島先生は導いている。これは、我々がこれまで裁判で主張してきたことそのものであり、我々として自信を持ってこれからも進めていきたい。

(3) 意見交換—「NHKを公共放送にするためにどうしたらいいのか」

- ① 事前に提供されていた佐々木有馬さん（大阪）のNHKニュース報道のウオッチ記録レポートを司会者が代読し、これを参考にして意見交換を行った。

下記の佐々木レポート別紙添付

- ・「NHK日曜討論番組視聴記録」
- ・「衆議院選挙前後を報じるNHK報道の視聴記録」

- ② 発言—中本さん（大阪）

奈良に住んでいる妹が、近所の人にNHKの放送はどうかと訊くと、多くの人が「NHKは好きや」と答える。何故かと訊くと、広告がない、ドキュメンタリー番組では民放にはないいい番組が多いという。私たちが学んでいるNHKの問題を理解してもらえない。佐々木さんのレポー

トにあるような情報を知らせれば解ってもらえると思う。私は「つぶやく女性9条の会」のニュースを発行しているが、そこにNHK問題をもっと載せていきたいと考えて、10月に載せました。そこでは、「放送法違反」などときつい言葉ではなく、「ちょっと偏ってるんちゃうか」とか、「大本営発表に似ているね」、「放送法を守ってほしい」というように柔らかい表現にしたらどうかと、佐々木さんにアドバイスをもらった。また、NHKの魅力についても認識して取り組んでいく必要があると思う。ところで、いい番組を作るリベラルな考えかたはどこからきているのでしょうか。組合の人達が頑張っているのでしょうか教えてください。

③ 発言—佐藤弁護士

12月8日前後には開戦に関するドキュメンタリー番組が放送されている。いぜんから、NHKは夏8月15日ごろと冬の真珠湾攻撃をした12月8日前後にかつての戦争にまつわる問題を放送してきた。視聴者の支払う受信料によって作ることが出来ている。N国党のようにNHKをスクランブルするという主張もあるが、視聴者が少なくなってNHKは弱体化して、良心的な番組もできなくなる恐れがある。NHKの現場は、例えば郵政かんぽ不正融資報道に関しての経営委員会の干渉に怒っている。NHKの組合・日放労は、かつて、上田哲が委員長をしていた頃は強かったが、今は必ずしもそうではなくなっている。しかし今でも一定程度頑張っているようだ。

④ 発言—平川さん（奈良）

中本さんの問題提起はその通りだと思う。多くの人が、NHKにはドキュメンタリー番組でいいものがたくさんあると思っている。しかし政治的なニュース報道では、問題がある。「つぶやく女性の9条の会」にあるように、NHKのニュース報道には問題があることを地道にやっていく努力が必要だと思う。

⑤ 発言—高桑さん（奈良）

佐藤先生、平川さんがおっしゃったこととダブりますが、私も友達にNHKのことをいろいろ言うと、NHKはいいじゃないのという人が多い。確かに、ドキュメンタリー番組、NHKスペシャル、自然観察番組、地球温暖化で北極の氷が解けているとかいい番組が多い。NHKはいいという人たちは、ニュース報道をあまり見ていないように思われる。ドラマでは、戦争を描くシーンが出てくることがあるが丁寧に描いているものもあり、簡単に端折って描いているものもある。問題は、ニュース関連番組に多いということである。その二面性を理解してもらう必要があると思う。

⑥発言—木村さん（名古屋）

平川さん、高桑さんのご意見に賛成です。NHKは、歴史ものはいろいろ掘り起こしてうまく作りいいものがあるが、現在につながるものは、例えばコロナについて、物足りない、取材をあまりせず、寄せ集めで番組を作り、全体量が少ないと思う。また、例えば安保法制強行採決の時に国会に詰めかけた反対運動は、60年安保の時とそん色のない規模であったのに、NHKはヘリコプターなどで取材してないので、きちっと報道できていない。秘密保護法反対の名古屋での集会は3000人規模であったが、NHKの記者は集会の1参加者として参加していて、取材が不十分で反対運動がきちっと報道されていない。

東海の会にはNHK出身者・日放労出身者が半分以上いる。彼らがNHKに対してものを言う、訴訟を起こすというようなことは、なかなかむづかしい。

最後に、今日の辰巳弁護士の見解陳述は大変よく理解できてよかった。

⑦発言—平川さん

木村さんの発言の最後の部分は、「放送の独立委員会」を作るというような運動に繋がっていくのでしょうか。

⑧発言—木村さん

そう思う。東京新聞は、名古屋の中日新聞のランチだけれど、東京新聞をかなりリベラルにしたのは、記者が中日新聞社だけではなく、いろいろなところから集まってきている。NHKは半分以上官庁みたいな所だと思う。

⑨まとめの発言—溝川さん（奈良）

メディア全体の最近の問題として、選挙結果について、野党共闘は失敗であったということばかりを報道している。得票状況の分析とか、前回選挙と比較をすれば、そんなことは言えない。毎日新聞の山田孝男さんは、共産党が政権に入るかどうかで天皇制、日米安保、自衛隊とかが問題になることを言っている。メディアが野党共闘失敗を繰り返し言っているのは、政権側の恐れを表していることでもあると思う。このままほっておいたら、ますますそういう攻撃が強くなる。

明日は80年前12月8日真珠湾攻撃のあった日ですが、私の父も12月9日に治安維持法で引っ張られ検束されたたという弾圧の歴史があった。当時の特高による弾圧を本などで読むと、戦争に全国民を動員していくために、昨年の学術会議会員の任命拒否が象徴的ですが、そういう動きが非常に怖い。こういう中で、今回の奈良のNHK裁判は非常に重要で、これをもっと広げていくことが大事だと思っています。

以上